

RELEASE NOTES

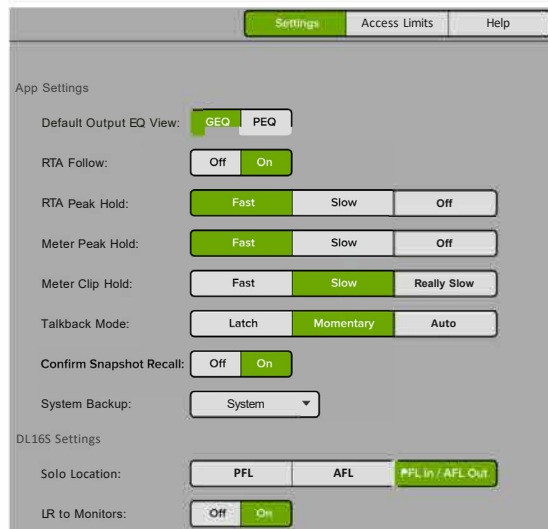
Mackie Master Fader App V5.2 • August 2020

まずはじめに

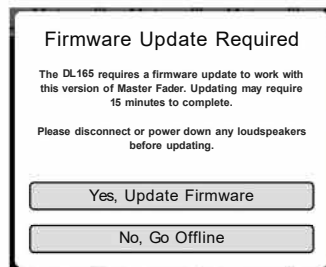
このリリースノートではバージョン5.1.1以降のMaster FaderアプリからのアップグレードとDLシリーズミキサーのファームウェアの変更に際して説明いたします。

新しいMaster FaderアプリはPlayストア(Androidデバイス)もしくはAppストア(iOSデバイス)から直接無料でダウンロードが可能です。またWindowsとMac OS用のアプリは下記よりダウンロードが可能です。 <https://mackie.com/products/master-fader-control-app>

アプリをダウンロードする前に必ずMaster Faderのバックアップ(Tools > Settings)をおこなってください。



ミキサーのファームウェアも更新する必要があります。ファームウェアの更新は、アプリアップデート後、初めてMaster FaderアプリがDLシリーズミキサーに接続されたときに開始します。アプリ画面の指示に従いアップデートを開始してください。なおこのアップデートには15分程度時間がかかります。



注意:ファームウェア更新後、タブレットがDLシリーズミキサーに接続できない場合、ミキサーの電源を再起動してください。

注意:DLシリーズミキサーで固定IPアドレスを使っている場合はファームウェアの更新が正しく開始されない場合があります。同様にファームウェアの強制アップデートもできない場合があります。このような場合、DLシリーズミキサーを動的IPアドレスで使う設定にする必要があります。

メインのネットワークからDLシリーズを切り離し、DLシリーズに直接Wi-Fiルーターを接続しスタンドアロンで一時的に使うことにより動的IPアドレスに設定しファームウェアの更新を行ってください。ファームウェア更新後は再度固定IPアドレスを割り振り、メインネットワークに接続してください。

注意:DC16のファームウェアをアップデートするには、DC16の背面にあるiPadコントロールポートにiPadを接続する必要があります。(ただし、DL32RはWi-Fi経由でマスターフェーダーに対応したデバイスであればアップデートできます)。

注意:初期設定でアプリはiOS、Android共に自動更新されてしまいます。アプリの自動更新をお使いのデバイスで設定してください。自動更新がライブ本番中に開始してしまうと大切なライブを15分間中断しなければならなくなります。

Android:Playストア>ハンバーガーメニューをタップ>設定>アプリの自動更新>アプリを自動更新しない をタップ

iOS:設定>iTunes StoreとApp Store>アップデートをオフ

不明点があれば下記より問い合わせください。

<https://mackie-jp.com/contact/>

システム要件

- Android:v7.0以上
(インストールするにはGoogle Playストアへのアクセスが必要です)
- iOS: v11以上
- Windows 10
- Mac OS 10.12以上

サポートデバイス

- DC16 Axis System
- DL16S
- DL32S
- DL32R
- DL1608
- DL806

Master Fader V5.2

以下はバージョン5.1.1以降に追加、変更、修正されたリストです。

- DC16をフルサポート
- Add Device by IP オプションがなかった問題を修正。この機能により、ネットワーク上で検出できない場合に、ユーザーが手動でDLミキサーをDEVICES VIEWに追加できるようになりました。
- RECALL/REPLACEポップオーバーで「SNAPSHOT」という単語が「SHAPSHOT」と誤字表記を修正。もしそれが「SHOUT(シャウト)」だったら、そのままにしていたかもしれません。
- 小型のAndroidタブレットでPEQのON/OFFを切り替える際に「ON/OFF」の文字が欠落していた問題を修正
- 元の画像を入れ替えた際に、プリセットに画像が保存されていない問題を修正
- クイックアサインのポップアップ内でアサインボタンが中央に配置されていなかった問題を修正
- FOLLOW MODE変更時にMasterFaderとDC16で変更されたスナップショットのアスタリスク(*)が設定されてしまう問題を修正
- ファームウェアアップデート終了後、同じミキサーに2つの同じ「DETECTED MIXER'S」ボタンがある問題を修正
- Vintage Comp/Gate Releaseのデフォルトパラメータを250msに戻しました。
- Parametric EQとDynamics Viewの改善
 - 初めてCOMP VIEWにアクセスしたときにCOMPグラフィックが正しく入力されない問題を修正
 - GATEのグラフのボタン下部に線があるのを修正
 - PEQの線をタッチすると光るようになりました。
- Dante Cardのファームウェアをバージョン4にアップデートし、Danteドメインマネージャに対応[DC16]
- 物理フェーダーの動作をよりスムーズに[DC16]
- フェーダーの値をチャンネルディスプレイに表示可能に[DC16]
- Groups SelectorのUSERセクションのUSERボタンを改善(例:ディレイのタップ機能をアサイン)[DC16]
- Groups Selectorの「CHAN」VIEWでCopy/ Paste/ Link の操作が可能に[DC16]
- リンクされたチャンネルのチャンネルコントロールにもアクセス可能に[DC16]
- 選択されたミックスチャンネルがデッキハイライトに[DC16]
- エンジニアがコンソールDC16から離れると、DC16 を操作させなくさせる機能を追加[DC16]
- ALL-CHAN Edit SEND のページを改善(例: 下向き矢印を押して最後のAux から最初の Aux に移動)[DCI 6]
- ALL-CHAN Edit SEND を押すとミュートになります。(AUX1を表示している時、エンコーダーを押すとMUTE)[DCI 6]
- L/Rフェーダーにチャンネルごとに送信する事が可能なPANを実装。これはユーザーエンコードモードに割り当てが可能[DCI 6]
- ユーザーエンコードモード [ALT+PAN=USER] - 例えば、任意のパラメータをチャンネル1エンコーダーにアサインし、ALT+PAN (USER) を押すと表示可能に[DCI 6]
- アウトプットPEQ HPF/LPFのスロープ調整がDC16 EQビューから可能に[DC16]
- ALT+EQ = ASSIGNボタン不具合修正[DC16]
- 出力DYNとDELAY VIEWに出力ディレイと温度コントロール制御が可能に[DC16]
- Master Fader 5 搭載のすべてのエフェクト機能がコントロール可能に[DC16]
- トランスポートコントロール(ALT + FX = TRANS)にアクセスし、DC16 経由で制御可能に[DC16]
- スナップショットのリロード機能向上[DC16]
- スクロール表示の改善 - スナップショットをスクロールすると、最後から最初に戻る事が可能に(その逆も可能)[DC16]
- Show > MoreボタンからChannel Safes にアクセス可能に[DC16]
- Show > Moreボタンでは、スナップショットの数、画像、SHOWの日時情報が表示可能に[DC16]
- エンコーダーを回転させながら SHIFT ボタンを押し続けると、選択したチャンネルのパラメータを微調整することが可能[DC16]
- チャンネルロック機能の追加:インプットやアウトプットのチャンネルをミックスデッキに固定し、常に視界に入るようにする機能を追加[DC16]
- Auto-spillロックされたミックスをミックスデッキに表示可能に[DC16]
- VCA / Subgroup Mix Spill機能:ミックスデッキのSEL(ect)ボタンをダブルタップすると、クイックビューが表示され、戻ることが可能に[DC16]
- Mix Selectロック機能:ミックスセクター上で最大4つのミックスをロックして常に表示させることが可能[DC16]
- Smart Bridge以外のタブレットやパソコン用に「N」と表示された4つ目のフォーモードを実装[DC16]

- DC16セットアップメニュー[ALT+DYN]を更新
 - Screen Brightness > Sun setting を追加
 - Talkback Mode - オート、モニタリ、ラッチングのいずれか選択可能に
 - Access Limitを有効/無効にすることが可能に
 - New Follow Mode - Master Fader のチャンネルセレクトがDC Follow可能に
 - New Follow Mode - Master Fader ViewがDC Follow可能に
 - New Follow Mode - Master Fader Mix SelectがDC Follow可能に
 - インプットのSOLOを選択可能に
 - インプットフェーダ選択可能に
 - アウトプットのSOLOを選択可能に
 - アウトプットフェーダ選択可能に
 - ロックされたインプットとアウトプットは、ミックスデッキの左または右サイドに配置することが可能
 - ロックされたチャンネルは、View Groupで表示または非表示にすることが可能に
 - ロックされたミックスはMix Selectorから表示または非表示にすることが可能に
 - リコール後の次のSNAPSHOTを選択可能に
 - SNAPSHOTリコールする際に確認画面が表示
 - メーターピークホールドのタイミングオプション 追加
 - メーターピーククリップのタイミングオプション 追加
 - Solo Mode-複数入力、シングル入力、マルチ入力を選択可能に
 - Solo Location-PFL/AFL選択が容易に
- 現在のSNAPSHOTが削除されると、現在のSNAPSHOTを示す矢印が消えるように修正[DC16]
- Select Follows Faderの箇所ではフェーダーを長押しすると、他のフェーダーがタッチされているという誤作動不具合修正[DC16]
- Follow ModeでMix SelectorでDC16 Masters Bankを選択すると予期せぬ動作をする問題を修正 [DC16]
- 選択されたChannel Viewが存在しない場合に、Master Faderが選択されたChannel Viewの変更に追従してしまう問題を修正しました(サブグループにノイズゲートがないなど)[DC16]
- Follow Modeが有効になっているときに、DCI 6 ショーの表示に変更されたSNAPSHOTを表すアスタリスク(*) が表示される問題を修正[DC16]

- DC16のチャンネル切り替え時にMaster FaderにインプットメーターのピークLEDが表示されていた問題を修正[DC16]
- Master Fader をバックグラウンドで動作させると、有線(ドッキング)での再生や録音が停止してしまう問題を修正 [DC16 / DL1608 / DL806]
- iPadをDL806/1608、DC16と有線接続時、iPadのサイレントモードでMaster Faderでの音楽再生がミュートになってしまう問題を修正[DC16 / DL1608 / DL806]

現在の問題点

(改善詳細時期は未定)

- FXでは、デフォルトのスナップショットを呼び出してもデフォルトの設定にリセットされない
- Master Fader 4.6.2からのアップグレード時にDC16のiPadコントロールポートからDL32Rをアップデートできない。DL32RはWi-Fi経由でアップデートを行なって下さい。
- User Encoder ModeではFXコントロールを割り当てることは不可 [DC16]
- DC16 は Mod Delay のタップ機能が存在しないことを表示
- DC16からDL806、またはDC16からDL1608を有線接続に切り替える際にMaster Fader の強制終了が必要
- ドッキングされたiPadに録音中、不具合が発生した場合は、サードパーティーiPadをアプリ、Presonus Capture、Auria、DAW Multitrackをお勧めします。これらはAppleのApp Storeで検索してダウンロードできます。Presonus CaptureとDAW Multitrackはどちらもバックグラウンドで録音できますが、AuriaとCubasisはバックグラウンドで録音できません。iPadを1台しか持っていない場合に便利です。 [DL806 / DL1608]
- ドッキング/アンドッキング時にマスターフェーダーが有線から無線に自動で切り替わらない [DL806 / DL1608]
- DL806 / DL1608にドッキングしたiPadでの録音中にMaster Faderがコネクトしない場合がございます。一度でオフラインに切り替えてから、DEVICE VIEWで再度オンラインにしてください。

現在の問題点と回避策

- WindowsのWi-Fi
 - 問題点: Wi-Fiネットワークを切り替えるとMaster Faderに接続、および再接続できなくなる
 - 解決策1: ミキサーが接続されているネットワーク(アクセスポイント)以外のすべてのネットワークでWi-Fiネットワークへの自動接続を無効にしてWindows 10を再起動するか、再起動後に手動で接続
 - 解決策2: 有線イーサネットを使用して直接ハードワイヤリング

Master Fader V5.1.1

Master Fader V5.1以降に追加・変更・修正された項目は以下の通りです。

- Master Fader5.1にアップグレードした後、2台目のデバイスから接続すると接続がし難くなる不具合修正
- macOSでMaster Faderが長時間触られていない時にクラッシュする不具合を修正
- FX Sendフェーダーレベルをコピーするとエラーが発生した不具合修正
- スライドフェーダー操作時急激なレベルアップが起きてしまう不具合修正
- AUXミュートとLRミュートが独立した状態に設定されている場合、アプリとDSPが同期しない不具合修正
- Vintage EQの調整はGEQに表示される用に改善
- Import/Exportのポップアップで画像が表示されない不具合修正
- Access LimitsのAll Offボタンを押してもAccess Limitsのページから離れない用に改善
- Access Limits、Mute Group、Show、Helpページを表示している際にPhone UIのチャンネルIDポップオーバーにアクセスが可能
- 小型タブレットポートレートモードでShowsを表示しない不具合修正
- LRメインがAccess Limitsされている場合、Over ViewでLRを選択した際に他のフェーダーの操作が出来てしまった不具合を修正
- Master Channel がAccess Limitsされている場合、Overviewで調整出来てしまった不具合を修正
- Master Fader閉じたり、再度開いたり、ミキサーに接続したりすると、ステレオリンクされていたチャンネルのリンクが解除されてしまう不具合を解決
- Input routing viewのAuxスライダの不具合を解決
- ランダムチャンネルのファンタムクリップ表示の不具合を解決 [DL806/1608]
- リンクされた出力チャンネルにつけた名前は、リンクの名前を変更した際にL側のチャンネルのカスタム名のみミックスセクターで表示されるように修正
- Master Fader 4.6.2 からShowをExportおよびImportする際のImageの不一致修正
- Overviewレイアウトのデスクトップでの不具合表示を修正
- Quick Assignポップオーバーが中央に配置されていない不具合修正
- Mute GroupがAccess Limitsされている場合でも、Overviewでアクセス出来てしまった不具合修正
- リンク出力に付けられた名前の不具合修正
- 長い名前を付けたOut Put Mixセクターの表示不具合を修正
- 小型のAndroidタブレットに表示されるMix selectorの箇所にリンク出力されたシステムとチャンネル名が重なってしまう不具合を修正
- Multi Selectを解除し、1つのMute Groupを無効にすると全てMute Groupが解除されてしまった不具合修正

現在の問題点

(改善詳細時期は未定)

- Master Fader V4.6.2 のFXプリセットをV5.1にインポートすることはできません。これはV5.1のFXが全く新しい為です。
- ミキサーがデバイスタブに表示されない場合があります。Master Faderを終了するか、デバイスのWi-FiをON/OFFしてください。
- I/Oパッチの一部のアニメーションが欠落
- I/Oパッチが時折ずれて表示される
- PEQボール操作時に縦線が表示されない
- ゲートのレンジボールがスレッシュホールドボールにかぶってしまう
- 時折複数のオフラインショーを勝手に作成
- GEQスライダーが掴みづらい
- リターン1-2がリンクされている場合、パラメータの読み取り値にはリターン1が表示される
- サードパーティのアプリやサードパーティのクラウドサービスにエクスポートする際にエクスポートされたShowがiPadで正常に完了すると、確認の画面が表示されない
- エクスポートされたShowのファイルアイコンには、Master Fader 4バッジが表示されるか、バッジがまったく表示されない
- プレイバック中にドッキングを解除するとプレイバックが一時停止する [DLB06 / DL1608]
- プレイバックチャンネル数が入手不可[DLB06 / DL1608]
- 録音/プレイバック中にミキサーが接続解除される[DLB06 / DL1608]
- 自動的に認識しないときがある[macOS, DL16S / DL32S]
- DLミキサーは、コンポーネントのアップデートが完了しない状態になる場合がある[Windows]

Master Fader V5.1

以下はバージョン4.6.2以降(DL806,DL1608,DL32R)、バージョン5.0.2 (DL16S,DL32S)に追加、変更、修正されたリストです。

1. DL806,DL1608,DL32Rに対応

- Master Fader 5.1がDL806,DL1608,DL32Rで使うことができるようになりました。

2. マルチプラットフォームに対応

- Master Fader 5.1 は大半のAndroidデバイス、iOS、Windows、Mac OSにて動作します。詳細は上記システム要件ご参照ください。

3. FXのリニューアル

- Master Fader V5.0には以下のFXが追加されました。: Phaser, Tremolo, Rotary, Mono/Stereo Chorus, Flanger, Mod Delay, Sweep Filter Manual/Auto/LFO
- ラックをイメージしたFXインターフェース
- FXがトップメニューから瞬時にアクセスが可能に



4. コピー/ペーストの改良

- チャンネルのプロセッシング、チャンネル全体 (Aux/Groupルーティング含む) のコピーアンドペースト



Copy

Paste Processing

Paste All

- 全体的なパフォーマンスの改善
- ファームウェアアップデート時のプログレスバーの改善
- チャンネルに名前を付けるときに次の→と前の←が使用できない不具合を解決
- RUDE SOLO表示の追加
- プリセットとチャンネル/プロセッサのリセットをリコールする際に確認用のポップアップが表示
- 入出力コンプのプリセットリストが小さすぎる不具合を解決
- Showボタンが現在のスナップショットを番号で表示しない不具合を解決
- インポート/エクスポートの不具合を解決
- Deviceの箇所に2つのミキサーが表示される不具合を解決
- ミキサーの名前を変更後、デバイスビューで同じミキサー名を表示していた不具合を解決
- HPFとLPFがボタンに連動し、スローボタンがタッチされる不具合を解決
- RTAメーターの間隔を等間隔に修正

- Spectrum Analyzerの最大(赤)スライダが-15dBインジケータを覆っていた問題を修正
- PHONEデバイスでヘルプ表示が中央に表示されない問題を修正
- Quick Assign ボタンをドラッグしたときに、緑の水平線が重なってしまう問題を修正
- iPadのReturnボタンでカーソルが次の行に移動しない問題を修正
- MAIN MIXER VIEWでトリム スライダが中心からずれていた問題を修正
- チャンネルを指定した後に「Done」を押してもチャンネルメニューが表示されない問題を修正
- SSIDを変更した後、Master Faderが再接続に失敗する問題を修正 [DL32S]
- バックボタンでMaster Fader が閉じてしまう問題を修正[Android]
- Dropbox を使用してエクスポートする際に、「Copy to Dropbox」しか選択できなかった問題を修正 [iOS]

現在の問題点と回避策

- WindowsのWi-Fi
 - 問題点: Wi-Fiネットワークを切り替えるとMaster Faderに接続、および再接続できなくなる
 - 解決策1: ミキサーが接続されているネットワーク（アクセスポイント）以外のすべてのネットワークでWi-Fiネットワークへの自動接続を無効にしてWindows 10を再起動するか、再起動後に手動で接続
 - 解決策2: 有線イーサネットを使用して直接ハードワイヤリング

テクニカルサポート

ご質問がある場合は下記よりお問い合わせください。

Web: <https://mackie-jp.com/contact/>

E-MAIL: support_mackie@otk.co.jp